

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第1区分

【発行日】平成18年11月16日(2006.11.16)

【公表番号】特表2002-526355(P2002-526355A)

【公表日】平成14年8月20日(2002.8.20)

【出願番号】特願2000-573836(P2000-573836)

【国際特許分類】

C 01 B	3/38	(2006.01)
B 01 D	53/32	(2006.01)
C 01 B	3/32	(2006.01)
C 10 K	3/04	(2006.01)
H 01 M	8/06	(2006.01)

【F I】

C 01 B	3/38	
B 01 D	53/32	
C 01 B	3/32	A
C 10 K	3/04	
H 01 M	8/06	G

【手続補正書】

【提出日】平成18年9月14日(2006.9.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1の触媒(41)を内部に含むアノード(36)と第2の触媒(41)を内部に含むカソード(37)と該アノードとカソードとの間に配設されたプロトン通過可能膜(35)とを備える電気触媒酸化(ECO)処理装置(29)内の炭化水素改質物から一酸化炭素を除去する方法であって、

(a) 前記第1の触媒(41)が、その一酸化炭素吸着能力を減少させる一酸化炭素を吸着するように、前記アノード(36)を横切って改質物(28)を移動する工程と、

(b) 前記アノードとカソードとを電気的に接続し前記アノードと該アノードの触媒(41)を介して電流を発生させる工程と、

(c) 前記第1の触媒(41)上に吸着した一酸化炭素を酸化剤によって二酸化炭素に変換して前記第1の触媒(41)の一酸化炭素吸着能力を再生させる変換工程と、を含み、前記電流が直流で発生される、方法。

【請求項2】

工程(a)の前に前記改質物(28)を加湿する工程を更に含む、請求項1に記載の方法。

。

【請求項3】

前記電気的に接続する工程では、電気的に非接続を行いこれらを繰り返して間欠的な電流を発生することを特徴とする、請求項1又は2に記載の方法。

【請求項4】

直流電源によって前記電流が増大される工程を含むことを特徴とする、請求項1乃至3のいずれか1項に記載の方法。

【請求項5】

前記第1の触媒(41)は、貴金属又は遷移金属からなり、5~1500m<sup>2</sup>/gの間の表面積を有する支承体(42)上に付与されていることを特徴とする、請求項1乃至4のいずれか1項に記載の方法。

**【請求項6】**

前記第1の触媒(41)は、貴金属又は遷移金属からなり、150~300m<sup>2</sup>/gの間の表面積を有する支承体(42)上に付与されていることを特徴とする、請求項1乃至5のいずれか1項に記載の方法。

**【請求項7】**

前記第1及び第2の触媒(41)が同じ貴金属又は遷移金属からなることを特徴とする、請求項1乃至6のいずれか1項に記載の方法。